

## 第 2 回 西宮市総合計画審議会 議事概要

開催日時	平成 30 年 3 月 28 日（水）午前 10 時 00 分～12 時 00 分
開催場所	西宮市役所東館 8 階大ホール
出席者	岡 委員、客野委員、倉石委員、徳久委員、新川委員、安東委員、川東委員、 椿本委員、樋口委員、平野委員、藤田委員、古塚委員、水田委員、山添委員、 石田委員、小野委員、水谷委員
欠席者	加藤委員、藤井委員、羽田委員
事務局	松永市長職務代理者、田村政策局長、清水政策局担当理事、楠本政策総括室長、 四條政策推進課長、岩田都市政策課長
傍聴者	なし
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 人口動態・世帯構成・住宅等に関する資料について</li> <li>3. 第 5 次総合計画基本構想（原案）の諮問について</li> <li>4. 第 5 次総合計画基本構想（原案）について</li> <li>5. その他</li> <li>6. 閉会</li> </ol>
資料	資料 1 西宮市総合計画審議会 開催スケジュール（更新） 資料 2 人口動態・世帯構成・住宅等に関する資料 資料 3 「住みたいまち」が持つ「まちのイメージ」と「まちの地域資源 評価」について 資料 4 市民アンケート調査結果（単純集計・クロス集計） 資料 5 第 5 次総合計画における施策体系 第 5 次西宮市総合計画基本構想（原案） 当日配布資料 諮問書（写し） 第 1 回 西宮市総合計画審議会 議事概要（案） 西宮市総合計画審議会 意見・対応一覧（第 1 回）

<b>議 事 の 経 過</b>	
<b>発 言 者</b>	<b>発 言 の 内 容</b>
	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長あいさつ、資料確認</li> <li>・半数以上の委員出席を得て本会議が成立していることを確認</li> <li>・会議の公開について確認</li> </ul> <p><b>2 人口動態・世帯構成・住宅等に関する資料について</b> (資料2、資料3、資料4について事務局より説明)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口動態、西宮のまちのイメージ、ブランド総合研究所の調査結果、市民アンケート調査の結果資料について、ご意見ご質問等があればお願いしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2の6ページにある住宅数の推移について、持ち家率が上がってきている原因は、タワーマンションが増えているためという理解でよろしいか。西宮北口周辺に代表されるような、タワーマンションをはじめとする一連のマンション群の建築ラッシュがこういう結果をもたらしているということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タワーマンションだけではなく、マンションが多くなってきた。以前と比較して、マンションを購入して住んでいる住民が多くなってきたと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯の転出が増えているのは、民生委員として気になる。西宮市が嫌になったとか、子育てに対する施策が嫌になったのではなく、転勤等が影響していると考えているが、何か理由はあるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転出者はそれほど変わっていないが、転入者が減ってきていることが影響していると考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回審議会で、赤ちゃんが増えたいし子育てしたいという親が多いという意見を述べたが、資料を見ると、自分の地域のことであり、全市的な見方ができていなかった。夙川と甲陽園の間は交通の便も良く、昔は社宅や大きな屋敷が多かったところにマンションができて、特に若い世代の転入者が多く活気付いている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代が転出しているのは、西宮市の人気が上がって地価が上がったため、地価が比較的安い尼崎市等へ流出したと予測する。</li> <li>・資料4について、年齢構成など基本的属性のデータはどこに掲載されているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料からはすぐに読み取れないので次回提示させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者と転出者について、どこから来るのかと、どこへ行くのかが分かると良い。今まで転入超過だったのは大阪から来ている人が多いのではないか。吹田市や豊中市が今でも転入超過であるのは、大阪市からの転入者が多いからだと考える。</li> <li>・西宮の魅力が下がっているのではなく、今まで転出超過だった自治体に人口の回復基調があるのかもしれない。西宮市から吹田市や豊中市への転出者が多ければ、もっと子育ての施策を頑張らなければならないかもしれない。そのあたりのことを詳しく知りたいので、今後の課題として考えていただきたい。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細な直近のデータはまだ分析できていないが、過去に調べた際には、ご指摘の通り、大阪からの転入者が多かった。今は減っていると考えられる。</li> <li>・ 例えば神戸市では、東へ移動する住民が多いので、全体的に大阪の中心部に向かって人が移動していると考えられる。次回、資料をお示ししたい。</li> </ul>
市長職務 代理者 会長	<p><b>3 第5次総合計画基本構想（原案）の諮問について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第5次西宮市総合計画基本構想（原案）を諮問する。</li> <li>・ 謹んでお受けする。</li> <li>・ 基本構想の原案は、総合計画の総論であり、全体の方向性や考え方を文章化して示したものである。この基本構想（原案）について諮問をいただいた。</li> <li>・ 具体的な個別の計画については、基本構想の議論が一定程度進んだ段階で、改めてご提示していただくことになっているので、ご理解をお願いしたい。</li> </ul> <p><b>4 第5次総合計画基本構想（原案）について</b> （事務局から、基本構想（原案）について説明）</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本構想（原案）は、総合計画全体を包括しているため、多方面にわたって記述されており、抽象的で分かりにくいかもしれない。質問等があればお願いしたい。</li> <li>・ なお、基本構想は、今回だけではなく次回も引き続き審議するということを念頭に置いて、ご議論いただきたい。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ほど事務局の説明の最後にあった基本構想の5つの特徴点を文書化していただきたい。基本構想は今回と次の第3回でまとめる予定ということなので、なるべく早くいただきたい。</li> </ul>
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料として用意する。審議の進め方については、基本計画を審議した後で基本構想に戻って全体をまとめていただく予定である。</li> <li>・ 基本構想については今日と次回を中心に議論していただくが、基本計画を部会に分かれて審議していく中で、基本構想そのものを考え直していく必要性が出るかもしれない。最後にまとめて、基本構想と基本計画を確定していくという進め方をお願いしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従来の総計ではキャッチフレーズがあることが多く、市が何を目指しているのかが分かりやすかった。</li> <li>・ キャッチフレーズを無くすことが良いかどうかは別として、一言で方向性を示した上で6つの課題を出す方がよいか議論してはどうか。個別の施策からまとめると6つのポイントは総花的になり、これまでの計画と変わらないように見える。</li> <li>・ 変化していく社会の中で、西宮市がどのようなことを考えているか、大きな視点で目指しているところを示すことも重要だと思う。</li> <li>・ 基本構想（原案）の36ページにおいて、費用対効果の向上や行政コストの削減に取り組むと書かれているが、すでに相当コストを削っているため、これ以上コストを減らすことは難しいと考える。公共サービスをなくしたくないのであれば、費用負担の見直しが必要になることにも言及していただきたい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化調整区域や北部地域の将来像に関する記述が少ない。文教地区・郊外住宅地というイメージが強いと感ずるので、全体的な市域の経営まで踏まえた、土地利用の概念も含めた計画である方が良いのではないかと。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域別アウトラインの作成を考えているということなので、それを基本構想の中にどう生かすかについて検討する必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次総合計画中間改定は非常に読みやすかったが、今回示していただいた内容に図や表は追加されるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>原案は文章が多いが、冊子にする段階でもう少し分かりやすくする工夫は可能である。分かりにくい点については、今後ご意見をお聞かせいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>原案の2ページの3行目に、第4次中間改定の8ページにある文章を引用してはどうか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画策定の主旨の歴史的経緯を引用してはどうかという提案である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>5ページの⑥で、ICT等用語解説を必要とする言葉を多く盛り込むのはいかがなものか。例えば、「ICT」は日本語で「情報通信技術」としてその後に括弧書きで「ICT」と表記してはどうか。そうしないと言葉に馴染みのない人が計画から離れてしまう。</li> <li>文化庁のホームページでは在住外国人の84.3%は平仮名を読めるとあるので、振り仮名が振ってあれば、より多くの方々に理解していただけるのではないかと。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで自治会組織は戸建て住宅を中心に活動してきた。集合住宅が増え、その中で管理組合ができると、自治会に加入しなくなり、集合住宅の住民は地域と疎遠になるという問題が起きている。隣近所とのつきあいが無い一人暮らしが増えているというアンケートの分析は実際そのとおりであり、そこをどのように補っていくかという取組が必要である。人と人のつながりを考えるという時代認識をお互いに分かり合わないと、行政と地域が離れてしまう。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次まではタイトルにキャッチフレーズがあったか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画の基本目標に「ふれあい 感動 文教住宅都市 西宮」というキャッチフレーズがあり、その目標をかみ砕いた文章が基本目標についている。キャッチフレーズの「ふれあい 感動」については理解が多岐にわたっていたと思う。原案にはキャッチフレーズを入れていないが、否定しているわけではないので、市民に分かりやすい方法を検討していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>こういうまちにしたい、市にしたいという将来像を先に提示して、そこから段階的に掘り下げる方が分かりやすいのではないかと。</li> <li>原案を読むと、アンケートとこれまでの諸課題を基にボトムアップで作っていかうとしているように見える。しかし今後5年、10年で解決できない問題が多くあるので、ボトムアップ型は難しいのではないかと。できたらイメージがわくようなタイトルを目標にして組み立てる方が良い。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業の場合、現場に答えがあるのだが、現場メインでやると採算が合わなくなる。だから、最終的な目標を最初に設けて、そこから下がっていくやり方もある。経営と行政は違うが、その方が分かりやすい。この原案を市民が読んだとき、西宮市がどこへ行くのか分からないのではないか。</li> <li>・費用の削減について、行政がやることはまだ残っているが、市民が今後負担する必要があることは計画に記載した方が良い。しんどいところ、言いにくいところも入れて、皆さんの協力が無いと良いまちにはならないことをうたうべきである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方交付税や市税が減少する中で、夢のある良い社会になって欲しいと思う反面、西宮市の最高の計画である総合計画に、夢だけうたって良いのかという心配がある。</li> <li>・保育のこと、待機児童のこと、障害者のことなど、いろいろな施策を進めて安全で安定した生活が送れるようになったら良いと願うが、あまり欲しがれない、欲しがらないということを思った。総合計画には現実を書かなければならず、行政の費用が不足するようであれば、個人負担が増大する時が来ると思う。</li> <li>・北部は交通が不便であるが、近所づきあいができており、不便を補う人間的な生活ができていると思う。</li> <li>・医療についても不便であるが、西宮市内の病院ではなく宝塚市の病院へ行くなど工夫してやってきた。このような北部地域の実情を踏まえて、他市との将来的な連携について、計画の中でうたってほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・22、23 ページのアンケート結果では北部地域の交通の利便さの選択割合が低いと書いているが、医療環境も低いので記述するべきである。</li> <li>・24 ページの表3 西宮の将来像について、塩瀬、山口でも「徒歩や公共交通でお出かけしやすいまち」を望む声が多い。北部問題についてはきちんと記述が必要である。</li> <li>・27 ページの③で、自助と共助（互助）の考えで地域の絆を強め、地域共生の社会に向かうということが書かれているが、「我が事」「支え手側」「受け手側」は、「ニッポン一億総活躍プラン」、「地域力強化検討会 中間とりまとめ」の中に出てくる言葉であり、そのまま記述するのが良いのか気になる。</li> <li>・共助、自助はすでに市民が取り組んでいることであり、自助や共助を促進するための行政の役割が書かれていない。自助、共助のための環境醸成、条件整備など行政の役割が全く書かれていない点に強い問題意識を持つ。⑥で地域行政のあり方が記述されているが、③だけで見るとトーンが弱い。</li> <li>・社会福祉法が去年改正され、地域福祉推進のために国と地方公共団体は必要な各般の措置を講ずるよう努めなければならないということが書かれた。これまでの総合計画よりも行政の役割について地域のところで書かれるべきだと思うので検討していただきたい。自助、共助は全て市民だけがやるのではなく、それをファシリテートするのは行政の役割である。</li> </ul>

会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想の中で、理想の西宮像をコンパクトに表せないか。また、市民も費用負担をすること、北部問題のこと、自助・共助と行政の役割のことについて書く必要があるという意見をいただいたが、関連する意見があればお願いしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッチフレーズの例として、これからの社会というのは、自分たちがつくるまちというかたちで、西宮市を向かわせていくというような、市民もやります、行政もやります、みんなですやりますということが分かる表現が求められる。</li> <li>西宮市が住みやすいまちであるためには、文教都市として築いてきた地域間のつながり、ネットワークが薄れてきているということに対して、どう立て直していくのかということが、これから 10 年の課題になってくると思われる。</li> <li>共助や自助を促進するような官の仕組みを前面に打ち出していけば、基本構想の 6 点とそれぞれ絡んでいくと思う。</li> <li>基本構想の中で地域別計画の位置づけをどうするかが明らかになっていない。それぞれのコミュニティに応じた課題の計画をつくって、そこで総体として西宮市とつながっていくというやり方もあるので検討していただきたい。</li> <li>増加する外国人住民が行政支援にアクセスしていくこともあるということを考えれば、振り仮名があった方が読みやすいのではないかとすることは重要な指摘だと思う。</li> <li>外国人を含めた住民に読んでもらうのならば、計画の構成を見直した方が良くもしいない。例えば、26 ページ以降のまちづくりの主要課題や将来像を先に示して、そのあとでまちづくりのパラダイム転換がなぜ必要なのかという説明を、時代状況の説明や西宮市の課題、それらに対応する具体的な計画を立てるという流れにすれば読みやすくなる。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 次総の時少し象徴付けて「ふれあい 感動 文教住宅都市・西宮」キャッチフレーズを付けたが、昭和 38 年の文教住宅都市宣言以降、総合計画の基本目標は「文教住宅都市を基調とする個性的な都市を目指します」としており、これは終始一貫して変わらない。西宮の「文教住宅都市」には、長い歴史があることを理解してもらいたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「文教住宅都市」の特徴を普遍的に維持することで、人口の流出が防がれているということは分かっているが、これから先、西宮市が同じようなことをやっていけるかどうかということを考えると、なかなか難しい。つくる必要のない総合計画をあえて作るのだから、西宮市の良いところを維持、拡大するためにも、これまでとは違うかたちで行政運営をする必要があるのではないか。</li> <li>文教住宅都市という変わる必要が無い部分はそのまま維持して、これから先の社会をどうしていくのかということを問うためにこの計画があると思うので、そういった観点が出てくるようなキャッチフレーズがあった方がいい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>文教住宅都市を変える必要はないが、どのようなまちを目指しているのか分</li> </ul>

委員	<p>かるような、イメージがわかりやすいキャッチフレーズが必要だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この計画は、行政を中心として、市民、企業、諸団体が協力して作成していくものにならない。行政の方向性の確認資料であってはならず、そのためにも、西宮市がどのようなまちづくりを目指しているのかを分かりやすく表現できたら良い。</li> <li>大学進学や就職を機に、西宮市から転出する人が多い。若い人や子育て世代に、西宮市へ帰ってきてもらえるように、青少年愛護協議会では中学生くらいから積極的に声がけをしている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4次総合計画のキャッチフレーズは「ふれあい 感動」となっているが、これは前身の「であい ふれあい わかちあい」をさらに深めたものである。今回も、現行のキャッチフレーズを更に深めたようなものにしてもらいたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>文教住宅都市・西宮の歌があるのだから、その歌詞からキャッチフレーズを拾っても良いのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後関東へ行く学生がかなり多い。本当は関西で務めたいが職がないので東京へ行くという学生が少なからずいる。</li> <li>大企業は東京へ進出する傾向が続いているので、夢を持った若い人たちが起業できるような仕組みをこの中で考えてはどうか。西宮市が起業を応援する、西宮市では仕事を持ちつつ子育てができるということを、明確なメッセージとして出してはどうか。</li> <li>北部地域の住民として一番困っているのは医療である。もう一つは台風や洪水で武庫川の水位が上昇すると電車が止まり、国道 176 号が通行止めになるため、移動が全くできなくなることである。そういうことに備えて、第一の交通ルートが使えなくなっても第二の交通ルートがあるような、地域として強靱化が必要になるだろう。</li> <li>総合計画はどの自治体も似たようなものとなっている。似ていると言うことは、各地域で競争することになる。似た様な事で各市お互いに競争して人口を奪い合ってしまったらもったいない。競争ではなく、関西広域連合のように、市町村レベルで行政の広域化、機能分担を見据えた総合計画が作れないだろうか。ビジョンへの記載を検討していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、小学校 41 校区ごとにスポーツ推進員が配置されており、幼稚園から老人の方を対象にいろいろな種目のスポーツ指導を提供している。また、体育協会等による講習会や選手育成を行っている。指導者はボランティアに頼っており、今後の人材確保が心配される。</li> <li>中央体育館（建替え予定）は駅から離れており、駐車場が不足するため、大きな大会を開催すると利用者が不便を被っている。体育館へのアクセス改善が今後の課題である。</li> <li>消防団がない市がある中で西宮市の消防団は活発に活動しており、災害時に消防署員だけでは足りない部分を消防団が補っている。防災における消防団の重要性について総合計画で言及していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想とはどんなものか、西宮とはどんなものかを市民に伝えるには、短</li> </ul>

<p>会長</p>	<p>いワードかセンテンスを最初に打ち出して、その後で中身を書き、その裏付けを書くという順番にさせていただいた方が読みやすいし、見やすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原案は、基本構想というより日々行っていることが書かれているだけで、作らなくていいものをわざわざ作るほどの内容なのかなのかと感じた。せっかく作るのであれば、行政がリーダーシップと責任を持って、方向性を打ち出し、こうする方がいいのでそれに皆さんで向かっていきましょうというような中身の方が、計画をつくる意味がある。</li> <li>・行政のコスト削減を入れると、ネガティブに受け取ってしまう市民がいると思う。行政も市民も一緒になって、責任をもってやっっていこうという内容が良いのではないか。</li> <li>・総合計画は行政計画だが、これからの西宮市がどのようなまちになっていくのか、どのようなまちにしていくのかということであれば、市民が主体、中心でないとまちができないので、行政が役割を果たし、一方で市民も全責務あるいは役割を果たしていくという計画が必要であるというご意見として伺った。</li> <li>・このあたりは総合計画をどのように位置づけるかということとの関わりで考えなければならないので、この審議会も責任を持ってその議論をする必要がある。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの若者は職を求めて東京、大阪へ行くが、西宮に自分の求める職種があれば、隣近所の人顔が見えて安心できる地元に住み続けたいという若者も少なからずいる。</li> <li>・西宮市で働きたくても職が無いため諦めた人もいるので、企業誘致は簡単にはできないが（、対応策が必要ではないか）。</li> </ul>
<p>会長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文教住宅都市のこれまでの蓄積が西宮市の若者に及んでいると感じた。</li> <li>・働く主婦が増えて、PTA をやる方も減少傾向にある。PTA 活動や地域活動に参加したいが時間的に難しいという声が多い。41 の小学校の理事に、地域との交流の状況を聞くと半数以上はうまくいっているが、そうでないところも多かった。PTA 以外の地域の方へのアプローチも課題なので、うまくいっているところの例がヒントになるかもしれない。</li> </ul>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々な活動が停滞している中、PTA の活動が起爆剤になっているところが都市部に多く見られるので、地域活動にどのように広げていくのかということが西宮の課題であるという意見として伺った。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が増え、商店も大型ショッピングセンターの立地や通信販売の普及で減っており、北部地域はその弊害が強く出ている。</li> <li>・空き家の問題が発生し、市場もほとんど全滅になっているような状況の中で、空き家の利活用など地域のことを生かしていく方法を考えてもらいたい。</li> <li>・大型ショッピングセンターが、ある地域に固まりすぎており、北部の住民は買い物に不便している。</li> </ul>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を含めて、まちの中のさまざまな機能をどういうふうに再度整備をしていくのか。また、小売市場だと思うが、その市場の話もいただいた。</li> </ul>



委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方では都市計画的にはショッピングセンターをどのように考えたらいいのか。これはいずれ巨大ショッピングセンターそのものが空洞化するのではないかという議論もあるが、このあたりも視野に入れて議論をしていかなければならないというご意見をいただいた。</li> <li>・名塩の幼稚園は来年度新しい園児が入ってこず、再来年廃園になる。このような状況の中で、北部地域は現在、小学校区をベースとした様々な活動が行われているが、将来的に校数が半減する可能性がある。現在、各小学校区には交流が無いが、今から活動の輪を広げて、北部の5つの小学校区が一体になるような、広い範囲での活動を行う必要がある。行政面でも、現行の北部地域の2支所を統括するような支所の活動が必要である。</li> <li>・将来、学校が減って、山口の住民が名塩の学校へ行くことになれば、日常から交流を行わないと、様々な弊害が生まれる。そういった施策を盛り込む必要がある。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの地域の特徴を踏まえた、基本構想と基本計画のあり方を考えていかなければならない。それを具体的にどのように展開していくのか、その方向性、基本的なあり方について触れなければならない。事務局、委員の皆様も考えおきいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校をなくすということは、地域にとって大きな出来事で、大きな衝撃を与えらると思う。立地適正化計画では、小学校のことについて言及されているのか、あるいは総合計画の中で小学校を守ろうと言うことを言ってもいいのか教えていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度末を目途に立地適正化計画の策定作業を進めているが、対象施設を絞り込むところまで具体化していない。いまのところ、小学校についてふれるつもりはなく、それ以外の生活利便施設と居住のエリアについて定めていく方向であると聞いている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校は教育だけではなく地域がまとまる象徴なので、丁寧に考えなければならない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ協会の活動も、地域によって課題が異なるので西宮市全域で同じように行うことは難しい。</li> <li>・北部の道路面の問題が出されたが、武庫川沿いの東の方も道路事情が悪い。袋小路になっていて、防災面も大変なところもある。このように西宮全体を見渡しても総合計画で同じようにやっていくのは無理がある。</li> <li>・コミュニティ協会では、北部地域、西、北西といった大きな5つぐらいのエリアを考えながら、いろいろな意見交換をしている。同様に、大きなエリアを土台にして考えると課題が見えてくるのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティの範囲を少し広げた観点でまちづくりを考える必要がある。小さい地域だけで見ていると多くの限界が目につくため、それをどのように補完しながら、地域の特徴を生かしたまちづくりを行うかという仕組みづくりについて示唆をいただいた。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は時間の関係で、各委員とも十分な意見が言えていないと思う。別途意</li> </ul>

<p>会長</p>	<p>見を書いて事務局に提出する機会を設けてはいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様には色々なご意見を事務局にお寄せいただき、次回の審議会では今日の意見の取りまとめと、新しい意見を踏まえて、基本構想の審議に入っていきたい。</li> </ul>
<p>副会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期限を切らなくて良いか。</li> <li>・次回審議会の開催通知をお送りする際に、追加のご意見の期限を併せてお知らせしたい。</li> </ul>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様式等も含めてご連絡いただきたい。</li> <li>・次回、今日のご意見も踏まえて、もう一度この基本構想についてご意見をいただきたい。次回は基本構想の取りまとめに進めればと思う。基本構想は、次回で確定するというのではなく、具体的な基本計画の中身を見ないと分からないということもある。そういうことを踏まえて、次回の審議会ではご意見をいただきたい。また、本日のご意見について、事務局で取りまとめ、事務局としての考えをいただきたい。</li> </ul>
<p>会長</p>	<p><b>5 その他</b></p> <p>(次回開催日程についての連絡 日時：6月1日(金)午前10時～ 場所：西宮市職員会館1階大会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、基本構想の構成、目次の順番、キャッチフレーズ、福祉や教育の問題、地域への愛着、空き家問題、日々の暮らしに掛かる問題について、多くの意見をいただいた。また、地域ごとの特性をどのように計画の中で踏まえるかについても意見をいただいた。事務局は、次回の審議会でお考えを改めて示していただきたい。</li> </ul> <p><b>6 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">以 上</p>